

保健体育

| 保健体育科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて | |
|---|--|
| ア 知識及び技能 | イ 思考力、判断力、表現力等 |
| 運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける | 運動や健康についての自己の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う |

| | 生徒の学力の状況(課題) | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証(2月) |
|------|--|--|---|----------|
| 第1学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組もうとする生徒は多いが、単元毎に興味・関心の二極化が見られる。 ・語句等を覚えることは、比較的にできるが、学んだことを自己の言葉に置き換えて、説明することに課題を感じる。ア ・自己の課題を発言し、他者と共有したり、話し合うことは、少しずつできるようになってきている。イ | <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に補教運動を取り入れ、基礎体力の向上に向けて取り組む場面を設ける。 ・学習カード等を用いて、自分の考えや学んだことを整理して振り返りを行えるようにする。 ・ICT機器を使用しながらグループ毎でお互いに助言し合えるよう場の工夫をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に実施 ・単元の中で適宜 ・単元の中で適宜 | |
| 第2学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に真剣に取り組む生徒は多いが、意見を伝えることが苦手な生徒がいる。 ・自己の課題を発見し、他者と共有したり話し合ったり、お互いを高め合う姿勢を伸ばすことが課題である。イ | <ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に運動の特性の理解を深めるために、学習カードを活用し、運動の仕方や特性、成り立ちについて自ら学び知識を深められるようにする。 ・授業中にICT機器を使用し、自己のフォームを確認したり、作戦ボードを使って班内で作戦や課題等を話し合ったりする場面を設ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に実施 ・単元の中で適宜 | |
| 第3学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組む生徒が多い。また、何事にも前向きに取り組もうとする。 ・自己の課題を発見し、他者と共有したり話し合ったり、お互いを高め合う姿勢を伸ばすことが課題である。イ | <ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に運動の特性の理解を深めるために、ICT機器を活用し、運動の仕方や特性について自ら学び知識を深められるようにする。 ・授業中にICT機器を使用し、班内で課題等を話し合う場面を設ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に実施 ・単元の中で適宜 | |

| | |
|---|--|
| ■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について | ■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について |
| ICT機器を使い、授業の振り返りを行う。タブレット上に保存することで振り返ることができる。【重点:個別】 互いに運動の姿を撮影し、互いに見比べ、課題を解決するために活用している。【重点:協働】 | 授業前にアンケート、授業後に習熟度確認テストをICT機器を使用して行うことで、自ら課題を把握し、学びに向かう力の育成に図る。 |